

平成29年度 小美玉市立下吉影小学校グランドデザイン

学校名	小美玉市立下吉影小学校	児童数	76名	学級数	7	教職員数	12
校長名	青葉 宏一	教頭名	中村 喜代美	教務主任	砂田 和広		

学校経営の構想 **下吉影小学校の教育目標**

郷土に誇りを持ち、確かな学力を身に付け、心豊かで、心身ともにたくましい児童を育成する。

【教育スローガン】 知・徳・体 バランスの取れた教育活動の実践 **【校訓】 知行一致**
 ～今日が楽しく明日も楽しい学校づくり～

めざす教師像

- 子どもを思いやる人間性豊かな教師
- 使命感に燃え、自己研鑽に励む教師
- 判断力があり変革に対応できる教師

めざす児童像

- よく学ぶ子
- 思いやりのある子
- 健康で明るい子
- 自主性・自立性のある子

めざす学校像

- 誰もが安心して安全に過ごせる学校
- 一人一人の人権が尊重され
心豊かに育む学校
- 自主的・対話的な授業が展開される学校

継続していきたい小規模校のよき

- 一人一人を大切に全員参加の教育活動(夢の揭示と「賛」表彰) ○ 思いやりのある児童の育成(下吉しぐさの浸透)
- 地域の教育力の活用(学校ボランティアによる学校支援) ○ 児童が主役の表現活動(ミュージカル、児童が主役の特別活動)

おおきく輝く人づくり

確かな学力の習得と活用する力の育成
 =主体的・対話的な学習活動を通して=
 ○ わかる授業を実践し基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。
 ○ 個に応じた指導で思考力・判断力・表現力等の育成に努める。

豊かな心や社会を生き抜く力の育成
 =人とのふれあいや様々な体験を通して=
 ○ 道徳や人権教育、特別活動等での議論や体験を通して思いやりや助け合いの心を育む。
 ○ 「ほめて伸ばし夢を育む教育」を推進しチャレンジ精神を育てる。(夢の揭示と賞状「賛」による表彰)
 ○ 基本的な生活習慣を定着させ規範意識を高め、強い心を育てる。

健やかな体の育成
 =自己管理能力の向上を目指して=
 ○ 体育の授業の質の向上を図る。
 ・体力づくり運動のより一層の充実・職員研修
 ○ 業間運動や体育的行事を充実させ、運動が好きな子を育てる。(体力UP月間)
 ○ 保健指導や食に関する指導を充実させ、健康への意識を高める。
 ・保健主事企画・運営による健康・安全指導の充実
 ・養護教諭や市栄養教諭等との連携
 ・外部講師の活用(薬物乱用防止教室等)

信頼・尊敬される教員づくり

質の高い指導力の育成
 ○ 教師自らが課題をもって取り組む研修を推進し成果を共有し指導力を高める。
 ・研修会への積極的な参加奨励
 ・全員実践の研究授業

教員評価、学校評価で学校改革
 ○ 学校運営への参画意識を高め教職員の資質の向上及び学校の活性化を図る。
 ・前年度の成果や課題を踏まえた目標の設定
 ・自己申告書と面談での確認と支援+データによる検証

教育公務員としての自覚の徹底
 ○ 実例、通知通達研修等により常に意識改革を図る。
 ○ 定期法令研修を行い、教育公務員としての自覚を高める。

危機管理対応の共通理解と徹底
 ○ 危機管理マニュアルを見直し対応の共通理解・周知徹底を図る。

明るく和やかな職場づくり
 ○ 互いの仕事を認め合い高め合う職場環境づくりに努める。

魅力あふれる学校づくり

一人一人が輝く環境づくり
 ○ 人権教育の充実を図る。
 ・人権集会 ・道徳の授業改善
 ○ 特別支援教育を推進する。
 ・児童、保護者の啓発
 ・幼・小・中連携を推進する。
 ・北学区コミュニティの活用

安全で安心できる学校
 ○ 全校一体型の生徒指導を展開する。
 ・全児童の情報共有、即時対応
 ○ 施設・設備の安全点検を確実に実施する。
 ○ 個々の自己管理能力を向上させる。

地域とともにある学校
 ○ 学校だより等で常に情報を発信し説明責任を果たす。
 ○ 地域の教育力を積極的に活用する。(学校ボランティア)
 ・交通安全、奉仕作業、下吉祭り等での学校支援
 ○ 学校防災連絡協議会の活動を充実させる。(避難訓練等)

グローバル社会に対応できる教育
 ○ 夢を育むキャリア教育を展開する。
 ○ ALTと連携した国際教育を推進する。

組織目標

- 授業力を高め、主体的・対話的な授業を実践し、確かな学力の習得と活用する力の育成を目指す。
- 体験活動を重視し、豊かな心や社会を生き抜く力の育成を目指す。
- 体育・保健・食育の指導を充実させ、健やかな体の育成を目指す。
- 心の居場所となる学級経営及び自主性・自立性、規範意識(基本的な生活習慣の定着等)を高める生徒指導を推進する。
- ◇ 学校経営に参画し、学校教育活動の活性化に貢献する。

グループ目標

- 課題、発問、板書などの授業の基礎・基本を大切にしたいわかる授業を実践し、学力の向上を図る。
- 道徳や特別活動の議論や体験等を通して、自己肯定感をもたせ、自己有用感を高め、思いやりや助け合いの心を育てる。
- 運動量を確保した体育の授業を実践し、体育的行事を工夫し、保健・安全教育、食育を充実させ、運動の習慣化を図る。
- 自由に温かな学級づくりを実践し、自分の考えをもち、基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成を図る。
- ◇ 各職務分掌の主任として、創造力と実行力を発揮する。